

財務諸表に対する注記

当事業年度から「公益法人会計基準」（平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

1. 重要な会計方針

（1）有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- ② 満期保有目的の債券以外の有価証券
時価のあるもの……期末日の市場価格等に基づく時価法

（2）備蓄穀物の評価基準及び評価方法

移動平均法に基づく原価法によっている。

（3）固定資産の減価償却の方法

什器備品……定額法によっている。
建物附属設備……定額法によっている。

（4）引当金の計上基準

退職給付引当金……期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。

（5）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当 期 末 残 高
特定資産				
入会預り金資産	1,300,000,000	41,206,754	41,206,754	1,300,000,000
異常補填積立資産	48,903,626,828	98,772,860,261	98,813,632,863	48,862,854,226
融資準備資産	36,098,235,612	22,545,857,034	27,098,235,612	31,545,857,034
事業準備資産	29,195,720,000	9,000,000,000	0	38,195,720,000
備蓄対策事業資産	7,091,190,459	38,387,725,838	30,984,697,481	14,494,218,816
退職給付引当資産	28,571,950	196,555,508	199,132,448	25,995,010
合 計	122,617,344,849	168,944,205,395	157,136,905,158	134,424,645,086

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対 応 す る 額)
特定資産				
入会預り金資産	1,300,000,000	0	0	1,300,000,000
異常補填積立資産	48,862,854,226	48,776,884,310	0	85,969,916
融資準備資産	31,545,857,034	0	0	31,545,857,034
事業準備資産	38,195,720,000	38,195,720,000	0	0
備蓄対策事業資産	14,494,218,816	553,366,769	0	13,940,852,047
退職給付引当資産	25,995,010	0	0	25,995,010
合 計	134,424,645,086	87,525,971,079	0	46,898,674,007

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,760,236	2,411,267	1,348,969
建物附属設備	834,519	106,716	727,803
合 計	4,594,755	2,517,983	2,076,772

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

種 類 及 び 銘 柄	帳簿価額	時価	評価損益
118回利付国債(20年)	1,292,788,360	1,413,312,390	120,524,030
61回利付国債	2,000,000,000	2,076,800,000	76,800,000
147回利付国債	1,029,353,667	1,019,000,000	△ 10,353,667
合 計	4,322,142,027	4,509,112,390	186,970,363

6. 引当金の明細

引当金の当期の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	28,571,950	2,046,460	4,623,400	0	25,995,010

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
異常補填準備財産	農林水産省	38,197,814,745	10,042,155,292	8,161,954,862	40,078,015,175	指定正味財産
飼料穀物準備財産	農林水産省	551,250,752	87,924,909	85,808,892	553,366,769	指定正味財産
事業準備財産	農畜産業振興機構	29,195,720,000	9,000,000,000	0	38,195,720,000	指定正味財産
緊急支援特別交付事業	農畜産業振興機構	0	7,182,019,330	7,182,019,330	0	
農畜産業備蓄補助事業	農畜産業振興機構	0	1,168,685,451	1,168,685,451	0	
合 計		67,944,785,497	27,480,784,982	16,598,468,535	78,827,101,944	

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	金 額
目的達成による指定解除	
(1)異常補填準備財産補助金勘定	8,161,952,590
(2)異常補填準備財産積立金勘定	8,139,096,976
(3)融資準備財産勘定	406,241,708
(4)緊急支援特別交付事業勘定	7,182,019,330
(5)備蓄勘定	81,996,474
(6)農畜産業備蓄補助事業勘定	1,168,685,451
合 計	25,139,992,529

9. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲

現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

(単位:円)

前期末	当期末
	現金 12,474
	普通預金 21,291,832
	現金及び現金同等物 21,304,306